

## 当院で下剤を飲まれる患者様へ（研究に関する情報）

当院では、以下の研究を実施しております。

この研究は、当院の看護師が看護の必要性・重要性を鑑み、計画して行うものです。通常の処置の中で行われたアンケートの記録をまとめ、学会等に発表することを目的としています。また、実施にあたり、当院倫理委員会の承認を得ています。

この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。ご希望があれば、個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲で資料を閲覧することが出来ます。

また、情報がこの研究に用いられることについてご了承いただけない場合は、お申し出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 大腸内視鏡検査を受ける患者に対する下剤内服中の体操療法の有効性

[研究機関] 医療法人社団 松愛会 松田病院

[研究責任者] 高橋君江 外来 看護師

[研究の目的]

当院で行われている歩行のみだけでなく体操も行うことで排便を促し、検査可能迄の時間短縮をすることにより患者様の身体的負担の軽減を図ります。

[研究の方法]

下剤を内服しつつ運動をしていただき、下剤を飲み始めてから内視鏡検査ができるようになるまでの時間を計測します。

●対象となる患者様

- ・30～70歳代
- ・当院で当日下剤(モビプレップ)を内服される方
- ・潰瘍性大腸炎、過敏性腸症候群、クローン病、大腸切除後の方は除外させていただきます

●研究期間

令和3年1月4日～ ※対象者200名に達した時点で終了といたします。

●利用するカルテ情報

年齢・性別

[問い合わせ先・研究への利用を拒否する場合の連絡先]

住所：浜松市西区入野町753

医療法人社団 松愛会 松田病院 担当：外来 高橋君江 鈴木妙絵子

電話：053-448-5121(代表)